



広報で振り返る

あの日あのときのあすひ

第5回

1992年(平成4年)2月15日号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今号は広報あさひ1992年2月15日号を紹介します。特集では、成人式の様子が紹介され、代表者の意見発表として、将来の夢や成人を迎えての誓いなどといった、熱い想いがつづられています。

そのほかは、糖尿病に関する記事が掲載され、合併症による重篤なリスクがあるなど、病の恐ろしさを伝えています。現在市では「CCDプロジェクト」による、糖尿病予防への活動に取り組んでいます。このころから啓発していたのですね。



家族のなかに糖尿病患者が
それだけで「赤信号」

[illegible]

糖尿病の啓発記事

平成4年の主な出来事

●バルセロナ五輪競泳で、当時14歳の岩崎恭子さんが金メダルを獲得



歳

おめでとう

五百八十六人が社会人としてスタート

新成人の引出を祝う成人式が一月十五日、東郷文化会館で行われた。

今年、新たに五百八十六人、男二百八十一人、女三百五十一人のおなさんが大人仲間入りをし、そのうち四百四十四人の方々が出席された。

会場に到着した新成人は、久しぶりに顔を合わせた同窓生と和やかに談笑していた。

式典では、初めに市長から式辞が述べられ、続いて二人の来賓からお祝いの言葉を受けた後、出席者を

青年の意見発表

発表内容の要旨です

食卓に一輪の花を



米本和弘さん
(八町場)

私は農業を一生の仕事と、希望に燃えている人間の一人です。

私の家にはハウス施設を利用し、苗栽培を営んでいます。花は高価な品物というイメージをお持ちだと思います。確かに現在の日本では冠婚葬祭に特別な目だけに飾る高価な品物であります。そこで、私の第一の目標は花の生産化を計り大型機械を導入し、花の生産コストを下げることにあります。そして、安い値段で購入できる花を作りたいと思っています。

現在の日本は、物質的に豊かでありましたが、心の豊かさが問われています。このような時、私は、「食卓



特集